



かみのせき 議会だより

2024
7/12

No.167



かわいいフラダンサー（公民館まつり・図書館まつり）

令和6年6月定例会

上関町議会のページ ▶



議案・質疑・応答	2～3ページ
常任委員会	4～5ページ
一般質問	6～8ページ
議会日誌 他	9ページ
就任・陳情・要請・編集後記	10ページ

6月定例会

6月定例会は、6月4日から12日までの9日間の会期で開催。

専決処分の承認6件、6年度

一般会計補正予算1件、簡易水道事業会計補正予算1件、町道の路線認定の変更1件、規約の変更に関する協議1件、報告2件、選挙について1件、追加議案3件、追加報告1件が上程され、原案どおり可決・承認された。

議案

◆専決処分は、令和5年度上関町一般会計補正予算（第8号）で、4693万円を減額し歳入

歳出それぞれ34億686万5000円とする。

・主な歳入は、特別交付税の3365万6000円の増額と財政調整基金繰入金5800万円の減額など。

・主な歳出は、ささえあい基金積立金3000万円の増及び清算に伴う用地取得事業特別会計繰出金の減及び予備費の減額など。

・令和5年度上関町介護保険特別会計補正予算と令和5年度上関町用地取得事業特別会計補正予算は、いずれも事業清算に伴うもので、介護保険特別会計総額は、保険事業勘定が5億9444万7000円、介護サービス事業勘定が170万で、用



決める議場



町道蛭子町惣津線終点

地取得事業特別会計総額は4748万2000円減額の251万8000円となった。

・町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例の制定の専決処分

・上関町税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定の専決処分

・上関町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定の専決処分

◆議案第2号令和6年度一般会計補正予算（第1号）で補正額として0千円を追加し、歳入歳出それぞれを35億5200万円とする。

・主な歳出は、地方創生臨時交付金の返還が生じたことによる57万7000円の増、教育費の会計年度任用職員の期末手当支給対象が拡大したことによる36万8000円の増でこれらは予備費で対応。

◆議案第3号、令和6年度上関町簡易水道事業会計補正予算で水道設備の一部に現状と異なる部分が生じたことによる、変更認可設計業務委託料の1562万9000円を補正。

◆議案第4号は、町道の路線認定の変更で町道蛭子町惣津線改良に伴い終点が変更となったもの。



町の方針を

◆議案第5号は、山口県後期高

齢者医療広域連合規約の変更に
関する協議については、行政手
続きにおける特定個人を識別す
るための番号の利用等に関する
法律等の一部を改正する法律の
制定等に伴い被保険者証等の発
行停止及び資格確認書等の発行
を行うため規約を変更することに
ついて協議をするために議決
を求める。

◆報告第1号は、令和5年度一
般会計繰起明許費繰越計算書の
報告

◆報告第2号は、一般財団法人
なごみの事業計画の報告

◆選挙第1号は、上関町選挙管
理委員会委員及び補充員の選挙
について。委員及び補充員の任
期が満了するため、選挙を求め

るもの。

◆追加議案は、工事請争契約の
締結で第1号は、かみのせきハ
イツ外壁改修工事

契約金額5104万円

(有)平田防水塗装工業

代表取締役 平田哲二

◆第2号は、上関(福浦)地区
単身者用住宅建設工事(建設主体)

契約金額8965万円

(株)浜田組

代表取締役 兼本吾郎

◆追加報告第1号は、専決処分
で白井田地区道路新設事業に伴
う建物解体工事

変更後3705万9000円

(株)イワキ

岩木昇

◆追加議案第3号は、令和6年
度上関町一般会計補正予算(第

2号)で歳入歳出予算の総額に
0千円を追加し、歳入歳出それ
ぞれ35億5200万円とする。

選挙

選挙管理委員会委員・補充員
が議長指名推選により全会一致
で可決

- ・委員 村田 景昭 氏
- ・委員 石山 泰人 氏
- ・委員 高橋 真理 氏
- ・委員 高松 満子 氏
- ・補充員 下村 正和 氏
- ・補充員 山方 由美子 氏
- ・補充員 横道 智佳代 氏
- ・補充員 石原 豊人 氏

質疑

応答

古泉直紀 議員

総務管理費の771万4000
0円は、住民税均等割非課税世
帯数等の申告による数の増によ
るものか。

坪金 企画財政課長

確定申告等による、対象世帯
数の増による増額。総数は95世
帯の予定。

Pick UP

○上関町税賦課徴収条例
の一部改正の内容

令和6年度分の個人の町民税
について、定額による所得割の
特別税額控除。令和5年分の合
計所得額が1805万円以下の
納税義務者本人及び控除配偶者
または扶養親族1人につき1万
円を控除。

○上関町国民健康保険条例の一
部を改正の内容

後期高齢者支援金等賦課限度
額が22万円から24万円に2万円
引き上げる。医療費分の均等割
額を一人当たり年間3万円を
2万5000円に引き下げる。



旧白井田小学校への進入路

産業厚生常任委員会

厚生関係

令和5年度 介護保険特別会計補正予算

問 介護予防支援事業費の委託料が減額されたのはなぜか。

答 委託先は町内2か所、町外5か所あり、委託料は国の基準で3年ごとに改定がある。その延べ件数が減ったため。

関連

問 町の診療所の設計について、基本計画や具体的な予定はあるか。

答 基本設計はもちろんするが、関係各課、設計コンサル、医師や看護師等とも協議し、また旧中央公民館解体後には地質調査も行うので、まだ初期の段階。計画や設計はこれからになる。



現在の町の診療所

産業関係

簡易水道事業会計補正予算

問 増額の内容は。

答 柳井広域水道企業団に水道事業を経営統合するにあたって県の認可をとるために、八島で一か所を常用水源として緊急的に認可変更する手続きが必要となり、コンサルにその申請などを委託するため。

第14期一般財団法人なごみの事業計画の報告

問 鳩子の湯のレストランを委託している(株)エブリシングに、このたび道の駅のレストランも委託するということだが、経緯は。

答 現在のレストランの経営状態のより一層の効率化と黒字化を目指し、またスタッフの確保について非常に厳しい状況にあり、関係者とも協議し、理事会にも諮り承諾をいただくなどして、鳩子の湯でレストラン経営をしている(株)エブリシングに委託することにした。

問 直営でも利益もあったのが委託になることで利益もコストも下がる、ということの良いか。

答 道の駅には町から今年度600万円を指定管理料として予算化しているが、これがないと黒字になるかということ、そうでもない。こういう取り組みで、より黒字化を目指すのではないかと。町からの支援がなくても営業ができるように、そういう考えで取り組んでいるので、ご理解をいただきたい。

問 委託収入は固定か、売り上げの割合か。契約年数は決まっているのか。

答 契約条件は交渉中。契約年数は3年が目安だが1年ごとに見直す場合もある。

問 鳩子の湯のレストランの手数料も変更になるのか。道の駅内のテナントもお辞めになると聞いたが。

答 手数料については以前より率は上がっている。テナントについてはまずは町内に公募し、事業計画を出していただくなどしていく。



7月1日に新規オープンする道の駅のレストラン

総務文教常任委員会

総務関係

問 令和6年12月2日から紙の保険証が廃止となるが、保険証情報が入ったマイナンバーカードを作っていない方には資格確認書が送られると聞いた。来年度以降も、資格確認書で対応されるのか。

答 マイナンバーカードを作っていない方とマイナンバーカードに健康保険証の登録情報を登録していない方には、毎年8月1日から、今の保険証と同じように7月に資格確認書を送るようになっている。後期高齢者では被保険者840名で、600人はマイナンバーカードに登録されていて200人位が資格確認書を送る対象となる。

関連

問 第6次総合計画にかかわる住民ワークショップの案内について

答 第6次総合計画については、令和6年度中に検討・調整を図り、住民ワークショップを開催したいと考えている。長島・室津全域及び八島エリアと祝島の2つのエリアで2回ずつ、計4回を予定している。第1回目は8月20～23日の間で、第2回を8月28日～9月5日の間で考えている。テーマについては1回目に「町の魅力と課題」、2回目は「10年後の町の姿を考えよう」とし、ブレインストーミング（集団志向・課題抽出）で行いたい。参加者の中には職員も入り一緒になって町の将来について考えていただきたい。住民の皆さんができること、行政ができることを手を取り合って役割分担しながら協働して町づくりを行っていききたい。

問 祝島のし尿運搬船業務の現状について

答 2月から始まったし尿運搬だが、（平生町の）田名で月2回引き抜きを行っている。ただし、県土木との協議のなかで田名が臨時の使用という事で、町内での引き抜き場所の協議を継続している。

文教関係

問 祝島の神舞神事に対し、町の方にも協力をお願いをしたい。祝島小学校の来年度、再来年度の複式学級また校舎の構想等現時点であれば教えて欲しい。

答 神舞については、島で詳細が決まれば教育委員会や本庁ともに協力したい。学級編成は、学年や人数による対応となる。教室の増設や教員住宅の準備もあるので、県教育委員会と協議している。内容は随時お知らせする。

問 祝島小学校の校舎のことで、自治会等の意見、ヒアリングとかないのか。

答 条例・規則に沿って進めることとなり、特例等はないが、保護者や関係者の要望等については協議しながら進めたい。

関連

問 郷土学習という形で祝島に中学1年生が行っているが、今後も予定があるか。生徒から上関大橋音頭を運動会等で踊りたいという声があるが。

答 前回は祝島に行き、神舞に使う切飾りを体験した。次回は7月2、3日に祝島小に行く予定。学校運営委員会で運動会で大橋音頭を踊りたいとの声が出たので、学校でも練習し、運動会等で取り組めるようにしたい。



神舞のパンフレット

『どうなる？今後の町づくり』

町政のことが聞きたい

一般質問

6月定例会では3名の議員が
6件の質問をしました。



清水 康博 議員

問 上関町に中間貯蔵施設
が本当に必要か検証を

答 国のエネルギー政策を
進める上で必要なもの

質問

現在、日本の各電力会社は原子力発電所の管内に中間貯蔵施設を設置する計画を進めている。また、日本原燃は今年度上期には六ヶ所再処理工場が完成予定と示している。中国電力が保有する島根原発の使用済み核燃料は現状、この六ヶ所再処理工場

へ搬出して処理する計画である。もしこの計画が順調に進むのであれば、「そもそも上関町に中間貯蔵施設を設置する必要性があるのか」という視点での検証をするべきと考えるが町長のお考えは。

町長答弁

六ヶ所村再処理工場については、安全性を最優先のうえで、安全対策工事を進められている。竣工時期は2024年度上期のできるだけ早期と公表されており、延期を想定しての上関町への中間貯蔵施設設置の計画とは考えていない。必要性については、国の第6次エネルギー基本計画において、使用済燃料の貯蔵能力の拡大を進めると

あり、国のエネルギー政策を進める上で重要であり必要なものと認識している。

問 上関町出身者のUターンを
増やす取り組みについて

答 住民と移住者のバラン
スを考慮していく

質問

移住定住対策の一つとして、上関町出身者のUターンを促進する取り組みも必要であると考ええる。出身者であれば、文化や風土、その地域に住む住民とも面識がありお互いにコミュニケーションがとりやすいなどのメリットもある。①上関町出身者のUターン促進について、町長のお考えは。②Uターン者への支援に特化した新事業や、既存事業の範囲拡大（移住支援金や空き家改修助成事業など）は検討されているか。

町長答弁

今後の移住定住対策として上関町出身のUターン促進も必要なことと考える。Uターン者が起業や地域活動の担い手として活躍されているのも存じている。現在、Uターン者に限定した支援策はない。独自の支援策の検討は必要と考えている。既存事業の範囲の拡大も今後、検討していく。これらの支援策を将来的に拡大することで移住・定住の可能性は広がると考える。ただし、現在の住民と移住者のバランスを十分考慮していく必要がある。



Uターン者が経営する飲食店



山戸 孝 議員

問 紙の保険証の廃止、 町民への影響を最小限に

答 制度の変更などあれば
町民へ周知する

質問

従来の紙の健康保険証は今年12月2日に廃止となる。資格確認書の交付や、従来の保険証が廃止後も記載された使用期限までは使用できるなどの経過措置もとられるが、制度の変更にについては町民への周知とともに、特に高齢者を中心に、混乱が生じないようケースに応じた対応を想定、検討していくことが必要ではないか。またチャート図を使つての視覚的にもわかりやすい説明や、町の公式LINEのチャットボットでの対応も検討してはどうか。

町長答弁

従来の保険証の交付を受けた方は来年7月末までは使用でき、マイナンバーカードの未保有者や保険証としては登録されていない方などには有効期限が1年の資格確認書を毎年7月に送付する。またマイナンバーカードでの受診が困難な方にも、申請は必要となるが資格確認書を交付できる。ただし現段階の情報であり、国の動向を注視する必要がある。制度の変更などあれば町民への周知を行ってい

く。公式LINEでの対応なども検討していく。

問 中間貯蔵施設計画、町民への 説明責任を果たすべき

答 まずは視察に参加を、
説明会は今後検討

質問

中間貯蔵施設計画については、いまだに町から町民への説明や情報提供がしっかりとされていない。適地かどうかの調査結果が出る前でも町民へ説明

町長答弁

住民の皆様には視察に参加していただくことが重要だと思う。住民の皆様には視察に参加していただくことも、実際に施設を見ていただくことが重要だと思う。住民の皆様には視察に参加していただくことが重要だと思う。住民の皆様には視察に参加していただくことが重要だと思う。

住民の皆様には視察に参加していただくことが重要だと思う。住民の皆様には視察に参加していただくことが重要だと思う。住民の皆様には視察に参加していただくことが重要だと思う。住民の皆様には視察に参加していただくことが重要だと思う。



町診療所のマイナンバーカードリーダー



秋山 鈴明 議員

問 定住対策のビジョンについて

答 住民の声を聞き反映させたい

定住対策として手厚い子育て支援などさまざまな取り組みを行っているが、一方で十分な成果には繋がっていない、ということは町長も認めている。定住対策の強化は、町内の子育て世代から強い要望がある。町としても定住対策を喫緊の最重点施策とするなか、十分な成果が出ていないというならば、現状維持ではなく、より精力的に新たな手を打つべきと考える。改めて今後の定住対策について具体的なビジョンを教えてほしい。

町長答弁

著しい人口減少を食い止める、移住定住に繋げるためには、住民の生活を守り、安心して暮らせる持続可能なまちづくりが重要と考える。第6次上関総合計画を策定する中で、ワークショップを通じて住民の意見を伺う機会を設けている。移住された方に、移住を決めたきっかけや移住者として何を求めているかなどを聞きたい。また新たに財源が貧しくてもできる取り組みについても意見を聞きたい。

問 将来世代へ過大な負担を残さないために

答 住民・現場の意見を踏まえ協議

質問

①今後も人口減が予測される本町で公共施設の維持管理費が次世代の負担になることから、

町長答弁

①負担を残さないよう公共施設の縮小について真剣に考えていくという町長の答弁だった(前回)。具体的には住民とどう協議を行っていくのか。②新たに診療所を建設する予定だが、現役世代へのサービスを行うにつ、次世代にとっては負の遺産にならないよう世代間でバランスをとる必要があるなか、診療所をどのように設計するのか。

り、住民とのワークショップを8月から9月にかけて開催を予定している。スケールダウンや統廃合等も視野に入れ、公共施設や公共交通等のあり方についての意見も計画の素案に盛り込んで行きたい。②診療所の設計については、関係機関を交えて現場の意見を踏まえ協議している。現在の海のまち診療所をベースに設計しているが、人口推移や人口規模、費用対効果等も鑑み検討する。

①第6次総合計画策定に当た



解体中の旧中央公民館

会議録のホームページ上 での公開を決定

上関町議会の会議録について、住民よりホームページ上での公開を求める要望があると議員より提案がありました。そのため、議会運営委員会及び全員協議会で協議し、本会議の議事録を上関町議会のホームページ上（上関町役場ホームページ内）で公開することを決定しました。すでに3月定例会の会議録から公開を始めています。なお会議録作成の関係で、公開は定例会の約3ヶ月後となります。



開かれた議会を目指していきます

議会活動報告（令和6年3月19日～令和6年6月12日）

月日	内容（場所・出席者・参加者）
3月19日	議会広報委員会（山谷・海下・古泉・右田・山戸）
3月27日	議会広報委員会（山谷・海下・古泉・右田・山戸）
4月2日	月例出納検査（海下）
4月4日	議会広報委員会（山谷・海下・古泉・右田・山戸）
4月10日	議会広報委員会（山谷・海下・古泉・右田・山戸）
4月17日	議会広報委員会（山谷・海下・古泉・右田・山戸）
4月23日	議会広報委員会（山谷・海下）
4月27日	周東環境衛生組合臨時会（柳井市・右田・山戸）
4月26日	月例出納検査（海下）
5月1日	熊毛郡町議会議長会定例会（田布施町・岩木）
5月14日	柳井地区広域市町議会議長会定期総会（柳井市・岩木）
5月8日	定期監査（海下）
5月21日	全国町村議長・副議長研修会（東京都・岩木）
5月22日	全国原子力発電所所在市町村協議会総会（東京都・岩木）
5月27日	議会運営委員会（山村・右田・海下・山戸・古泉・岩木）
5月30日	月例出納検査（海下）
6月4日	第2回定例会本会議（全議員）
6月5日	全員協議会（全議員）
6月7日	産業厚生常任委員会（山戸・山村・海下・秋山・山谷・岩木）
6月11日	総務文教常任委員会（右田・古泉・清水・柏田・岩木）
6月12日	第2回定例会本会議（全議員）
6月12日	第2回定例会本会議（全議員）
6月12日	議会運営委員会（山村・右田・海下・古泉・山戸・岩木）

岩木和美議長 令和6年2月20日

山口県離島振興市町議会 市長就任

(任期) 令和6年2月20日～令和7年10月2日



山口県離島振興市町議会 議長会とは

離島地域は、地理的・自然的特殊事情に起因する制約を背景に、社会資本の整備や所得・生活条件等の面において本土との間に依然として著しい格差が存在している。

従って、現下の厳しい財政状況の中においても、離島振興のための諸施策を積極的に推進するよう国並びに県等の関係機関・団体に対する陳情・要望活動を行うとともに、離島を有する市町相互の連絡協議を図りながら創意工夫に基づく新しい時代の要請に対応した個性豊かな島づくりを推進するものとする。

陳情

使用済核燃料中間貯蔵施設に關して専門家を含めた有識者会議の設置を求める陳情

「上関原発どうするの？」

「瀬戸内の自然を守るために」

伴 英幸

要請

学校の業務量に見合った教職員配置と長時間労働を抑制するため教員に残業代を支給可能とする給特法の改正を求める要請

山口県高等学校教員組合

石田 高士

お知らせ

神舞

祝島 二〇二四
千年の時を紡いで

山口県指定無形民俗文化財
大分県選択無形民俗文化財

8月16日(金) 入船・神楽

8月17日(土) 神楽・宮参り

8月18日(日) 神楽・出船

4年に1度の神事、多くの見物客で島が沈むとも言われてきました。是非、みなさんお越し下さい。



上盛山からの祝島

次回定例会の初日は
9月10日(火)の予定です。

皆様方のご意見・想い・投稿など
お待ちしております。

編集後記

6月定例会、議案としては、多くありませんでしたが、中身としてはこれからの上関町の行く末を担う議案に關して議会として慎重に審議しました。

柳井地区広域水道企業団や、補正予算での物価高騰支援事業において、非課税世帯への給付金など、人口減少、非課税世帯の増加により、町財政は、大変、厳しい状況です。そういった中、第6次総合計画に向け、町による住民ワークショップが行われる予定です。

議会でも町民の声を取り上げますが、想いのある方は、是非、ご参加いただき第6次総合計画がより良いものとなることを願っております。

聴取委員	委員長	委員
副委員長	委員	委員
古泉 直紀	右田 千賀子	山戸 孝
海下 竜一郎		
山谷 良数		

発行責任者／議会議長 岩木和美

〒742-1402 山口県熊毛郡上関町大字長島 448

TEL 0820-62-0364 FAX 0820-62-1600

編集／議会広報広聴調査特別委員会
印刷所／中村印刷株式会社